

やまびこ

第116号

平成30年 3月



「穹 窿」

公益財団法人 **八正会**

卷 頭 言

「長期的な目標を立てる」

理事長 落 司 量 則

目標は私たちを目的地まで案内してくれる。目標を達成するには次の三つのステップが必要になる。

一、達成したいことを決める
二、それを達成するために必要なことを決める
三、それを実行する

目標には二種類ある。短期的な目標と長期的な目標だ。資格を取得する、家を買うといった長期的な目標は短期的な目標よりはるかに多くの計画と努力と時間を必要とする。

企業においても短期的な目標、長期的な目標を立てる。その目標は社員のベクトルを同じ方向に向けるために必要であるし、それに向い社員一人一人が与えられた立場で計画し実行し、目標達成に向けて行動していくことになる。

個人も長期的な目標を持つことが必要である。長期的な目標を持たずに生きるとは、その日暮らして綿密な計画とは無縁の人生を送ることだ。経済的な安定はほとんど得られないし自分が必要としているものや欲しいものが手に入りにくい。行動は環境に左右されるために人生はほとんど予測不可能なものになる。長期的な目標を持つて生きるとは、しっかりした人生設計ができ、自分の欲しいものを手に入れやすくなり、その目標に向かって仕事をし、それを達成することで人間的に成長するということだ。

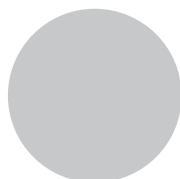
長期的な目標をもとに人生を設計するか、その日暮らしの人生を甘んじて受けるか、どちらを選ぶかは自分次第だ。

プロフィール

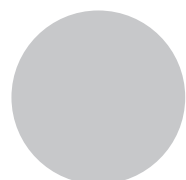
- ①氏名
- ②現住所
- ③出身校
- ④入学校



- ①砂子 絢音
- ②赤磐市
- ③高陽中
- ④明誠学院高校



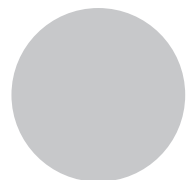
- ①中島 涼音
- ②美作市
- ③美作中
- ④林野高校



- ①森本 樹璃
- ②勝田郡勝央町
- ③勝央中
- ④津山高等専門学校



- ①小山 涼夏
- ②岡山市東区
- ③上南中
- ④西大寺高校



- ①石黒 七海
- ②岡山市北区
- ③高松中
- ④岡山南高校

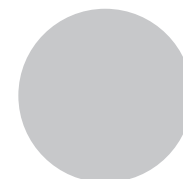


- ①岸 愛香
- ②岡山市北区
- ③石井中
- ④岡山南高校

新入会員の紹介

合格おめでとう！

4月より11名の高校生が新しい仲間として入会されます。
温かくお迎えしましょう。



- ①小川 皓太
- ②岡山市北区
- ③香和中
- ④岡山朝日高校



- ①遠藤 聡
- ②玉野市
- ③山田中
- ④岡山芳泉高校



- ①立川 崇人
- ②岡山市中区
- ③操山中
- ④岡山東商業高校



- ①島尾 晴紀
- ②赤磐市
- ③桜ヶ丘中
- ④玉野光南高校



- ①枝木 真人
- ②倉敷市
- ③福田南中
- ④水島工業高校

目次

巻頭言	理事長 落司 量 則
新入会員紹介	
「歴史」を学ぶ	理事 南 智 1
雑感	〃 岡 征二 郎 2
人生で大切にして欲しいこと	評議員 大 山 昇 4
懐古	高校三年 植 本 圭 祐 5
高校生活を振りかえって	〃 小 西 菖 6
読書感想文	〃 三 宅 竜 矢 6
三年間のまとめ	〃 産 本 龍 7
感謝	〃 佐 伯 吏 咲 子 9
これからのこと	〃 青 山 公 士 10
高校生よ、もっと青春しよう	〃 杉 岡 大 輝 11
三年間を振り返って	〃 小 竹 守 花 恵 12
KIVYK KOVYK	高校二年 日 下 侑 希 13
大学進学に向けて	〃 濱 田 祐 佳 里 14
部活について	〃 佐 藤 海 斗 14
二年生の思い出	〃 久 保 田 実 歩 15
気づいたこと	〃 津 本 宥 海 16
受験生	〃 井 上 唯 17
日本人初の九秒台	〃 植 木 龍 翔 18
三年生	〃 上 原 志 保 18
心境の変化	〃 栗 山 裕 唯 19
頑張っていること	〃 小 林 桜 子 20

「歴史」を学ぶ

理事 南智

いま、「歴史ブーム」の到来である。書店の流行本のコーナーを見ると、歴史に関する本が売れ筋になっており、テレビでも歴史関連の番組は安定した視聴率をあげているという。城や城跡を世代や性別に関係なく多くの人が訪れているとか、歴史好きの女性を指す「歴女」という言葉もよく聞く。歴史上の人物がゲームやアニメのキャラクターとして親しまれ、歴史を題材にしたシュミレーションゲームもあるようだ。

歴史ブームは日本のみならず世界的な広がりを見せており、これは懐古的な要素だけでなく、現状打開の方向を歴史の流れの中で捉えようとしている心理が働いているからとの説もある。

そこで改めて歴史を学ぶことの意味について考えてみよう。高校生の皆さんからすると、現に「日本史」「世界史」の授業があり、大学の受験科目にあるから勉強するのは当然という答えが返ってきそうだ。また、授業で人名・事件・年号・著作などの固有名詞を詰め込み暗記する科目

課題研究について	高校二年	高橋大地	21
一年を振り返って	〃	片山歩	22
負けず嫌い	〃	安井絵里果	22
頑張る時	〃	笠富花	23
オメラスから歩み去る人々	〃	四野見祥子	24
最近思うこと	〃	井上彪馬	25
僕の冒険	〃	武田宗真	25
大学入試に向けて	高校一年	守時明信	26
二〇一八年	〃	大月佳子	27
ある日の出来事	〃	宇田川桃佳	28
部活動	〃	芦田佳大	29
「生きる」ということ	〃	杉岡由香子	30
超ゲーム理論	〃	中村優斗	31
英会話部に入って	〃	酒井美絵	32
目標	〃	山川達雄	32
趣味の大切さ	〃	近藤玲海	33
緊張とは	〃	山梨有希	34
一年間の振り返りと今年の抱負	〃	黒田裕希	35
英語の必要性和私の目標	〃	有村真優	35
お便りコーナー			37
編集後記『野菜高騰と畑仕事』			39

と考えている人もいると思う。確かに過去の歴史に関する知識の蓄積は大切である。とくに、近現代に至るまでしっかり学習してほしい。しかし「歴史」を学ぶのは、実は歴史から学ぶことが現在を読み解く鍵となり、未来への羅針盤となるということを忘れてはならない。イギリスの歴史家・政治学者・外交官であるエドワード・ハレット・カーは、その著書『歴史とは何か』（岩波新書）において、歴

現在と過去との間の尽きぬことを知らぬ對話なのであると記している。歴史は、決して単なる過去の出来事の記録ではない。歴史は、今作られている出来事でもあり、未来へと繋がる出来事である。今を生きる私たちは、過去を知り、学ぶことによって未来に対する洞察力をみがくことが出来る。その知識が不足していることは、現代社会の本質を知るために不利な条件を背負うことになりかねない。

歴史を学ぶことについて、もう一つ考えておきたいことがある。教科書に見られる歴史上の出来事は絶対性を前提にしており、歴史認識の科学性と实在性を当然のこととして記述されている。しかし、歴史上の出来事は解釈によって相貌を異にするとして、歴史とはそもそも解釈であるという視点がある。歴史の研究と、それぞれが生み出す歴史像は、それぞれの時代が課している要請を受けたり、研究

する人の見方や考え方で多様な姿をとったりする。これは、第二次大戦中に少年時代を過ごし軍国主義の教育を受け、青年期に戦後の平和教育を受けた私の実感である。

皆さんは、将来自らの関心に基づいて歴史について調べ、考察し、歴史像を生み出していく視点をもつことが大切ではないか。そのためには、歴史を学ぶにもアンテナを広く大きく張っておいて欲しい。

情報量が著しく増大し、社会のあり方や日々の生活が大きく変わりつつある変化の激しい時代をたくましく生きていくためには、現在を見えることは勿論のこと、しっかりと広い視野から歴史を正しく認識していくことが大切と思う。

（元ノートルダム清心女子大学教授）

雑感

理事 岡 征二郎

現在は定職を離れているので毎日が自由な時間である。身近な整理をするつもりで、書物や各種資料を整理している。

本を読破した。文学から自然科学まで幅広く読んだが、特に文学書をよく読んでいた。この結果、エジソンは文学・夢・ロマンに関する知識を身に着けていたということで、このことが想像力の基礎となっていたといわれている。

ニュートンは、エジソンより二〇〇年も前に生まれている。ニュートンは少年時代から読書好きであった。幼いころ、母親が再婚し、祖母に育てられたニュートンは、キングズ・スクールに入ったとき、薬剤師のクラーク家に寄宿したのであるが、当時としてはたくさんあった蔵書を屋根裏部屋で読んでいたと言われている。彼はよくいなくなつたが、探してみるとクラーク家の屋根裏で本を読んでいたといわれている。孤独で無口なニュートンはケンブリッジ大学に入学したのちも家に帰ると読書・思索・実験にふけていた。

○ソフトロボティクス：柔らかいロボット

ロボットというと鉄とか硬さを連想するが、最近では人の筋肉と同じような働きをしたり、鳥の羽のような動きをする柔らかいロボットの研究が進められている。磁場中で固体になる不思議な液体である。これは、MR流体と言われ、溶媒に磁性粒子（鉄粉）を分散させた液体で、磁場を変化させることで液体の粘度を変化させることができる機能性液体である。磁場をかけると固くなり、磁場をとると

大学生の頃、むさぼりながら読んだ人生論や哲学書、社会人として勤め始めた昭和四〇年代の教育界の動きをはじめとして現在に至るまでの職務や社会情勢に関する情報が残されていた。過去を懐かしむだけではなく、過去を土台にしてこれからの自分の生きざまを見つけ出せないものかと考え、目にとまった資料からいくつかの情報を取り出してみた。

○米国の科学教育の改革

米国はアポロ計画でソビエトに先を越されたのを機会に、科学教育の在り方を根本的に改革する必要に迫られた。そのために国家プロジェクトとして、特別なチームを編成して改革に取り組んだ。昭和四〇年代前半のころのことでCHEM化学、PSSC物理、BSCS生物等で日本の科学教育の中にもその成果が数多く取り入れられた。

○人は不便さを感じないと、考えなくなる。

○想像力・連想力が創造力の前提になる。その基礎は読書である。

エジソンの母親は賢明な人であった。父親はエジソンを頭の悪い子供と思い込んでいた。母はいつもエジソンを飛ばしながら、よく本を読んで聞かせていた。その結果エジソンは本が好きになり「本の虫」になった。十五才になったとき、デトロイトに開館した無料図書館に通いすべての

柔らかくなる。

○記憶とはどんなことなのか

我々のある時の経験を脳内に蓄えておき、後に再び意識内に昇らせる作用であり、次の三つの作用に分けられる。

外界の刺激を感受したり、それらの知覚を脳細胞に何らかの痕跡として残しておく（記録）。記録された印象を脳内に保管しておくこと。このとき、記録された印象が明瞭に他と区別されて保管される（保持）。イデオサバンという特殊能力を持っている人は、記憶術の天才といわれる。記録され、保持されているものを必要に応じて精神内に昇らせる（想起）。

○観念の形成とは

外界にそれに相当する刺激がなくても、ある事物や想念が浮ぶとき、その心像を観念または表象という。観念の形成は、感覚・知覚・記憶および連想など諸機能の経験を経なければならぬので、その経験のどこかに故障があると観念形成障害をもたらすことになる。

読書することにより、私たちは、直接経験できない事項を間接的に獲得することができる。自分が体験できる一日の事柄は、些細なことであっても、直接体験することによって、自らの生活の歴史の中に新しい世界を築くことができる。直接体験と間接体験の融和により自らの人生を

より有意義に過ごすことができると思う。

（元旭川莊療育センター児童院顧問）

人生で大切にしたいこと

評議員 大山 昇

数年前のNHK『青年の主張』で最優秀賞になった高校三年生のAさんという女子生徒の話です。Aさんは、二歳のときに交通事故でお父さんを亡くしています。お母さんの手で育ったAさんは、高校で手話クラブに入って手話の勉強をしました。そして、耳のきこえないBさんとお話をしました。Bさんとの会話で、Aさんが感じたのは、Bさんが、「私達のように耳のきこえない人は決して不幸なのではない。耳がきこえないから、不便なだけです」と言ったことです。Aさんは、お母さんの生き方をみて、「人生における不幸というのは、体にハンディがあったり、片親だったりすることではない。本当に不幸なのは、困難に出会ったとき、一番、容易な道を選んで歩く人ではないか」と考えたということです。そこで、Aさんの結論は、

しています。

（元玉野市立東兎中学校校長）

懐古

岡山朝日高校三年 植本圭祐

過ぎ去ってしまうと、もう随分と前の事のように思われます。最後の朝日祭の事も、つい先日のある程鏝骨したセンター試験のことも。思えば様々な事は思い出されますが、今回は私の高校生活の印象的な事柄を追懐することとします。

まず、勉強はしていて良かったと思います。成績云々も大切ですが、知識や経験の範疇で世界観を大きく変える得るものだと思うからです。三年間でそれなりに様々な人の思想に出会ってきましたが、反感を含めて素直に新鮮な気持ちになりました。中でも特に琴線に触れたのは、よくある話ではありますが、初めて英語の長文で、『個』について日本人と比較されたのを読んだ時でした。日本人は他人の目を気にし過ぎている、他人には他人の、自分には自

「失ったものを探し求めるよりは、残されたものを大事にして生きていくのが、本当の生き方ではなからうか」ということです。なかなか、立派な考え方だと思うのは私だけでしょうか。

あと一つは、「袖すり合うも他生の縁」ということわざがありますが、これは、まったく見知らぬ人と路上で袖がふれ合うのも前世から何かのつながりがあるということですね。つまり、人の一生は、他人とのかかわり合いの歴史といえます。毎日たくさんの人に出会います。そのなかには、ことばをかわすこともなく、満員電車に乗り合わせる人、心を開いて打ちとける人もいます。作家の井上靖さんの「わが一期一会」という本があります。一期一会ということばは、茶人の千利休が、茶会の心構えとしていったもので、『今日の茶会は、再びくり返せない。一生に一度のものである、主人も客も、そのことを心得て、全力をつくして、すばらしい茶会にしよう』とっています。井上さんは『過去をふり返ってみると、何とたくさんのすばらしい一生に一度の出会いがあることか。その多くは偶然によって生み出されたものであるが、長い人生行路で、そこだけが輝いて見えている』と述べています。

四月からの生活を進めていく上で、この二つのことをとくに思い出して、自分の道を歩んでいくください。応援

分の生き方があり、そうすれば良い、と言った趣旨の文章でした。確かに、他人にどう思われるかを気にして生きるのは、つまらないし損だなあと感じました。好き勝手に生きれば良いという意味ではありませんが、『神は自ら助くる者を助く』といった感じでしょうか、自分自身の道を歩くべきだ、と解釈しました。だから、私にとってこの文章との出会いは非常に価値のある事だったと思っています。

そして、何より周囲の存在です。（誰であれそう言うのかも知れませんが）私は悉く友人に恵まれたと思っています。互いに切磋琢磨して学問に励めたとか、そんな意味だけではありません。最後の朝日祭、センター試験など、恐らく人生で一番心を砕いた時期と一緒に乗り越えられた事は、本当に最高の思い出です。そして（まだ終わっていませんが）私が充実した高校生活を過ごせたのは、家族、学校の先生、そして毎月多額の奨学金を頂いてきたからです。本当に感謝しています。ありがとうございます。私は全くもって果報者でございます。

高校生活を振りかえって

倉敷古城池高校三年 小 西 菖

先日、センター試験という大きなイベントが終わり、卒業まで残す所あと一カ月と少しとなりました。先生達や卒業していった先輩達が「三年生の一年間は本当にあつたう間だ。」と言っていたのを改めて実感しています。

私が高校三年間で一番思い出に残っているのは、やはり藤花祭です。一年生の頃には展示、二年生の頃には劇、三年生ではデモンストレーションをしました。三年生になつてしたデモでは、決められた短期間の中で躍りや隊形や使用する楽曲、衣装を考え、全てを同時進行ですることがすごく大変でした。躍りを考え、覚えていく中でクラスのメンバーがもめてしまったこともあり、まとまらないのではないかと不安になったりしましたが、それでも毎日クラスのメンバーと放課後に残って練習をし、衣装を作り、本番を迎えることができました。本番では三位中に入ることができなかったのはすごく悔しかったのですが総合の部では二位を勝ち取ることができたのでとても満足です。皆と一緒に汗を流して覚えたり笑ったり泣いたりした藤花祭は本

当に楽しくてすごく幸せな時間でもとてもいい思い出となりました。

最後に、八正会の皆様、三年間多額の奨学金をありがとうございました。学校があつたりと参加できない時もありましたが、八正会での一つ一つの行事では様々なことを経験させて頂き自身も成長することができました。八正会で学んだことをこれからも生かしていきたいと思います。

読書感想文

岡山東商業高校三年 三 宅 竜 矢

今回読んだのは「図書館危機」という本で前回と同じ図書館戦争シリーズの三作目の本です。

前回の最後にととう王子様の正体を知ってしまった主人公。正体が嫌いな上官だったことによって、その上官に披露してしまった今までの恥ずかしい発言、行いの数々があり憤死ものだった。

この本の話の内容は、痴漢に対する図書館の話でその内容にでてくる嫌いな上官ではない方の上官が言った「死ねば

いいよ」の発言は怖かったです。

次の話は昇進試験の話で図書館にも階級がありそこらへんもしっかりしているんだなと思った。

次の話は差別用語についてです。差別される側が差別されたとして意義を申し立てたわけではなく、勝手に、メディア良化委員が判断をし決め付けられて異議を申し立てている話です。きつと調べるといつもみなさんが使っている言葉の中にも差別用語があるかもしれません。

次の話は久々の大規模な作戦。この作戦は茨城にある図書館のイベントでやるオブジェを守るという作戦でそのオブジェが良化委員会を侮辱したオブジェだったのでそれを守る作戦でした。すごく自業自得だと思った。

次の話は図書館の総司令官の稲嶺が、勇退する話ですごく感動しました。

このシリーズは全体的にコメディの要素が多いシリーズなので今回はすこし驚きました。でもすごくおもしろい本でした。

三年間のまとめ

津山高校三年 産 本 龍

今まで、ずっと、後から読んだら恥ずかしくなるような文章ばかり書いてきたような気がしますが、今回もその感じでいこうと思います。主に不安や感謝などの感情が入り混じった謎の表現が多々あると思いますが、ご了承ください。

高校三年間はあつという間だとよく言われますが、そんなことはないと思います。やはり三年という時間には、それなりの大きさがありました。何ごとでも、過ぎてみれば短かったというだけで、一瞬で過ぎ去るわけではないでしょう。今回の三年間は、手放すにはあまりにも惜しい時間になった、ただそれだけです。

高校に入ってすぐは、中学に戻りたいという思いが少なからずありましたが、今ではそんな気は全く起きなくなりました。戻るなら開き直って〇歳からか、高一からですかね。高校生活がこんなにも感慨深いものになった背景には、寮生活をしていたことが一番の理由だと思っています。例年どの学年にも、何らかの確執があるものなんです、自分の

学年にはそれがなく、俗に言う「みんな仲良し」状態で、朝から晩まで馬鹿騒ぎして、みんなで自習室に七時まで残って、晩飯一緒に食って、一緒に風呂入って、十二時回るまで一緒に勉強して、話し込んで気付いたら二時になって、翌朝同時に点呼で跳び起きて：なんて生活を毎日していました。修学旅行もみんなで回って、センターもみんなで行ってみんなで帰りました。一度コレをやってしまうと、もう一人暮らしなんて考えられなくなります。理数科のみんなもかけがえのない存在になりました。やっぱり、この時期を三年間共に過ごすことにより生じる結託には、かつてないものを感じました。自信をもって、他のどのクラスよりも騒げると言えます。本当に、津山の理数科に入学し、尚且つ寮に入って良かったと心からそう思います。

身内自慢はこのくらいにしておいて、今度は不安を吐露させていたきたいと思います。センター試験は、地域の皆様、学校の先生方、学年のみんな、そして何より母の偉大なバックアップによって、何とかビハインドを取らずに済みました。一応センターだけなら合格圏内です。しかし、東大は二次配点がセンターの四倍ですから、センターの出来は足切りさえされなければほぼ問題になりません。実質、リードもビハインドもないという訳です。まあそれはいいんですが、問題なのは二次の内容です。正直、勝てる気が

も返しきれません（まあ受かるまで返す気はありませんが）。

この原稿が上がるころには、もう合否はとっくに出ているでしょうから、再びこの文章を目にしているであろう未来の自分に期待して、このへんで終わりにしたいと思います。

最後になりましたが、三年間に渡って多額の奨学金を賜り、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。貴会の奨学金のおかげで、寮に入ることや、海外研修の費用をまかなうことができました。そして何より、研修会を通して、素晴らしい仲間、経験を得ることができました。このお返しは、出世払いということで、気長にお待ちいただければと思います。

短い間でしたが、本当にお世話になりました。それでは皆様、お元気です。

しません。合格ラインに乗っているのは、今のところ五教科中、生物だけです。後は乗っていません。このところ絶望しかしていませんので、その様子をお伝えしたいと思っています。まず、朝起きて顔を洗い、ひげをそります。ここで視力の著しい低下に気付き絶望します。次に、英文の要約をします。添削に出して、返ってきたら「これではほぼ〇点!」と大きく書いてあって絶望します。更には数学の個人添削課題に取り組み、一問も完答できず絶望します。古典の出来なさに絶望します。現文まさかの時間足りない事件が起きて絶望します。そして先生に「時間余ると思うんじゃない、多分」とアドバイスを頂き更に絶望します。化学は問題は解けそうなのに時間の関係で半分しか解けず絶望します。たまにそもそも手がつかない問題があり、ちよつと深めに絶望します。そして帰り道、寒すぎて絶望するといった具合です。

日々絶望することは多々ありますが、それでも、目指してもいいラインに立てたのは、カスすぎる私に現実を突きつけるでもなく、「今のまま頑張ろう」と背中を押し続けてくれた担任の先生のおかげです。昨年の成績では明らかに不合格まっしぐらコースが二割引き付きで待ち受けているような感じでしたが、先生に底上げしてもらったような形で、今までやってくることができました。この恩は返して

感謝

岡山操山高校三年 佐 伯 吏咲子

高校に入学して三年が経とうとして、もう卒業の日を迎えようとしている。「高校生活はあつという間」という言葉で、今身に染みて感じている。この三年間は、本当に色々な事があり、その分私は挫折も成功も経験した。また、ここまで自分が何不自由なく部活も勉強もしてこれたのは、奨学金の給与や研修の場を設けてくださった八正会のみなさんのおかげであり、またいつでもどんな時もサポートしてくれた家族のおかげだと思う。

私は、一年生でハンドボール部に所属していたが、慣れないハードな練習での身体的な不安と周りに実力が追いつかないという思いからくる精神的負担から部活を心から楽しめていなかった。色々悩んだ結果、二年に進級とともに中学三年間やり込んでいた吹奏楽部に転部した。こうして私が思い切った決断をしたり、悩んでつらい時は、いつも家族が相談にのって励ましてくれ、背中を押してくれた。そのおかげで吹奏では、大変な事もあったけど仲間と乗り越えて困難を楽しみに変えられたり、自分の成長する機会を

多く与えてもらった。色んな意味で部活を楽しめた。

家族は私の部活に関することに興味を持って質問したり、私のやりたいことを尊重して部費などの出費も嫌な顔一つせず出してくれた。だから私は、自分のやっていることに自信を持って励むことができた。

私が悩んでいる時も、喜んでいる時もどんな時もいつも傍で全力で応援してくれた家族には本当に感謝の気持ちでいっぱいだ。

また、三年間の間に多額の奨学金で金銭面をサポートしてくださり、研修会で色々な人との交流で自分にはない価値観と出会い精神的な成長へと導いてくださった八正会のみなさんには感謝してもしきれない。

この感謝の気持ちを日々感じながら大学生活を充実させていきたい。三年間、本当にありがとうございました。

これからは自分が恩返しという形で、社会貢献をしたい。

これからのこと

岡山城東高校三年 青山公士

私はこの春、高校を卒業して県外の大学へ進学するつもりですが、県外へ出ることはつまり一人暮らしをするということ。長い間憧れてきた一人暮らしですが、現実味を帯びてくるといっくらか不安要素もでてきました。そこで私は一人暮らしに必要な要素（その人自身についてだけでなく、まわりの環境についても含む）を考えてみました。

まず一つ目は住まいの立地条件です。駅から近い、スーパーが多い、治安が良い等々たくさん条件があります。しかし、私が一番に選ぶ条件はカフェが近くにあることです。それはカフェで勉強をするためです。受験生活を通してカフェでの勉強はすぐ集中できると気づきました。また、設備条件で絶対に外せないのはトイレ・バスが別々であることです。これは共感してくれる人も多いのではないでしょう。か。お風呂はリラックスして入るものなのにあれでは逆にストレスがたまりかねないと思います。

二つ目は費用の節約、貯金です。節電・節水は出費を収

えるために誰もがしていることだと思います。しかし私は

家計簿をつけることが大事だと思います。バイトの収入と日々の出費を記録することでしっかりとしたお金の管理ができると思います。

三つ目は二つ目の要素にもつながりますが、なるべく自炊をするということです。毎日コンビニ弁当やカップラーメンを食べるのは健康にもよくないし、なにより出費が高くなります。最近はクックパッド先生という最強の味方があるので料理が苦手な人でもできると思います。

四つ目は一般常識を知ることです。最近になってこの重要さに気づきました。受験の願書手続きを行う際にわからないことが多すぎて困りました。今までは親にやつてもらっていたことをすべて自分でやるようになるのだから、一般常識を身につけておかないと公的な場面で困ったり恥ずかしい思いをしたりしてしまうでしょう。

このようにまだまだたくさんありますが、考えだすときりがないです。このことによってひとつだけ明らかなのは全く知らない環境ですべて自分の責任で行動しなければならぬということです。その中で数々の経験をし、学んでいくことが大切だと思います。こういうわけで一人暮らしというのは自主・自律の過程において必要であり、また、親のありがたみを知るという意味でもとても重要であると

思います。

これからの大人になる前の準備期間を全うしつつも楽しんでいきたいと思います。

高校生よ、もつと青春しよう

岡山操山高校三年 杉岡大輝

三年前の春に入学したかと思えば、あっという間にもう卒業となりました。

三年間を振り返る中で、私が感じたことをここに書きたいと思います。

私は高校生がすべきことは二つあると思います。一つ目は「青春」です。一口に青春といっても様々なことがあります。今の高校生は青春できていないように感じます。結果が求められる現代社会。勉強でも部活動でも常に結果を重視し、それだけの為に行動するよう促されます。もちろん結果を出すのは大切で、成功すればうれしいです。しかし、それだけが青春といえるでしょうか。私はそうは思いません。高校生という大人でも子供でもない時期だから

こそ目標に向けて突っ走るだけでなく、いろんな寄り道をしてみるのも良いと思います。よく遊んで、よく学んで、よく部活して、よく寝る。一つに絞るなんてもったいない。やらないと後悔が残りますが、挑戦して行動して残るのは成功と教訓だけです。だから高校生は文も武も遊も全てやるべきことなのです。両立ではなく「全立」する。これが青春だと思います。

二つ目は「感謝」です。高校生が一人で生きていくことはできません。親、先生、友達、八正会の皆さん。ここに上げられないほど多くの人々に支えられています。日々感謝。口に出さず思っておくだけでも行動が変わってくるのではないのでしょうか。

私の三年間は本当に充実していました。勉強はともかく、部活も文化祭、体育祭も全てが良い経験でかけがえのない思い出です。後輩の皆さんにも、感謝を胸にしっかり青春してほしいと思います。

三年間を振り返って

岡山一宮高校三年 小竹守 花 恵

早いもので高校生活も残り一ヶ月となりました。入学した頃のことは昨日のこのように思い出せるのに、もう卒業なのかと時の速さを実感しています。

さて、今回は少しありきたりかもしれませんが、私の高校生活を振り返ってみようと思います。この三年間は勉強に部活に忙しく、ほとんど暇な時間がなくて、とても充実したものでした。私は地元から少し離れた高校に通っているのですが、周りに恵まれ、交友関係を広げることができました。また部活でも良い先輩、後輩をもち、大切な同期の仲間とも出会えることができました。試合では大きな結果を残すことができませんでしたが、部活で過ごした時間や努力は今の私にとって大事なものとなっています。

この三年間でたくさんのかたちをもつて学ぶことができたのですが、その中でも伝えたいことがあります。それは「心を折らない」ということです。これは三年の冬に感じたことで、この時期になると周りにすでに合格した友達が増えてきます。迫ってくるセンター試験、合格した友達、

なかなか伸びない成績に心が折れてしまいそうになります。ですが塾の先生が「大切なのは心を折らないこと」と言っていたことを思い出し、最後まで努力を続けました。その結果、目標点には届かなかったものの、八月の模試から百二十点以上伸ばすことができました。これから受験を迎える人たちはぜひ心を折らずに頑張ってください。

最後になりましたが、八正会の皆様、三年間の多額の奨学金と様々な研修の機会をありがとうございました。

KIVYK KOVYK

倉敷高校二年 日 下 侑 希

今年の抱負を考える。すると、年が明けるとすぐにやって来る、センター試験や二次試験に向けて何かをとも思うが、翌年のことを考えると鬼が笑うので、ここでは勉強以外のことについて考えることにする。

考えてみた。まず一つ目に、近年急激に読む量が減ってきている読書を行うことが挙げた。さらに考えてみると、量を増やすようにするか、今まで読んだことのないジャン

ルの本を読むようにするか、悩む。今まで読んだことのないジャンルとは…。評論だろうか、昔の有名な著者、例えば芥川龍之介や夏目漱石、の本を読むことだろうか。さらに悩む…。

結論として、年間百五十冊本を読むこと。うち、五十冊は評論や文豪の本を読むことにした。

次に、これまた近年行っていない日本百名城のスタンプラリーを行うことが挙げた。これは、全国各地にある城の中から厳選された百の城にあるスタンプを押し集めるもののだが、ここ最近行くことができていない。なので、今年は近場の中国、四国地域のスタンプを押し集めることを目標にしようと思う。

久しぶりに、今年の抱負を考えてみたが、なかなか面白い。内容はありきたりなものだが、こうして文字にしてみると意欲がわいてくる。活字というものの力を思い知った、二〇一八年初頭の今日この頃である。

大学進学に向けて

作陽高校二年 濱 田 祐佳里

今日、国立大学の二次試験志願状況が新聞に掲載されていた。去年までは、全く興味を持たなかったが、今年は自分の志願している学部を見ながら来年の自分を想像している。

私は、教育学部を志願している。大学によつて取れる教員免許も違うし、同じ教育学部でもいろいろな専攻がある。自分に合った専攻は何かを今考えながら過ごしている。来年の今頃、慌てないように考える時間のたくさんある今、考えなければいけないと思う。

私は、習字を小学校一年生の時から続けている。高校に入学してからは、大学入試に向けての書道の理論や臨書をしている。だが、本当に自分が大学に入学して四年間専門的に勉強していけるのか迷っている。きつと専門的分野になると、その道一本で勉強するという覚悟と根気がなければならぬ。私にはまだその覚悟ができない。一般的に教育学部という方向もある。

自分の将来なので、大学進学に向けて、じっくり考えて

でも更にアクセスの悪い場所で活動しています。

システム研究部は「創作活動」を行う部活です。こう書くと胡散臭いですが、具体的にはゲームとか動画とかソフトウェアとか、コンピュータを用いてなにか作るのが主な活動です。ぼくは主にゲームやWebサービスなんかを作っています。

毎年、文化祭にて作ったゲームや映像作品を展示しています。ぼくは弊校のマスコットキャラクター・てくにゃんを題材にした「てくにゃんあつめ」というゲームを作って展示しました。子供とおばさんに大人気でした。来年も展示する予定なので、もし文化祭に来られたらプレイしてみてください。もちろん無料です。

ゲーム制作の他にも、競技プログラミングというものに取り組んだりもしています。競技プログラミングは、かなり乱暴に言えば、数学の問題をプログラムに解かせるスポーツです。実生活で役に立つかは微妙ですが、思考力とプログラムの実装力が鍛えられます。

その他にもチマチマとくだらないものを作っています。最近では、だじゃれを投稿して評価しあうサイト「だじゃれオンラインジャッジ」を作りました。誰もだじゃれを投稿してくれなくて悲しいので、だじゃれのセンスに自信のある方はぜひ投稿してください。

決めたいと思う。入れる大学ではなく、自分の未来に向けて、私の夢を叶えることができる大学を見つけていきたい。そのためにも、今、時間を無駄にせずに自分の決めた大学に進学できるように残されたあと一年を頑張っていきたいと思う。

時間は限られているので、できる限りのことはする。

部活について

津山高専二年 佐 藤 海 斗

夏に提出した原稿には数学と漢字のことを書いていた気がします。秋に『やまびこ』を頂き皆さんの文章を読んだところ、近況報告や読書感想文が多くて、多くの文章が完全に浮いていました。

またフリーエ変換について語ってもいいのですが、今回は高校生らしく、部活の紹介をしようと思います。

ぼくはシステム研究部という部活に所属しています。かなり特殊な、悪く言えば変な部活です。「津山高専の北極」と呼ばれる、ただでさえアクセスの悪い津山高専の中

だいたい部活でやっていることはこんな感じです。プログラミングやゲーム制作に興味のある人は夏の合宿とかで話しかけてくれると嬉しいです。よろしくお願いします。

二年生の思い出

美作高校二年 久保田 実 歩

二年生にাগり高校生活もだんだん慣れてきました。特に思い出は三つあります。

まず一つ目は、八稜祭です。一日目の文化祭では、私のクラスは福祉コースなので介護体験とオバケ屋敷を組み合わせたものをしました。オバケ屋敷は初めてだったので最初はとても不安でしたが、お客さんは沢山きてくれたので大好評でした。二日目の体育祭は、私は応援団に入り、毎日練習を続けました。応援ダンスはとても上手いきき、競技で一位総合優勝することができました。

二つ目は、修学旅行です。私は台湾に行きました。私は初めての海外でとても楽しみでした。台湾では観光地をめぐったり、台湾の学校に行き学生と交流しました。自由行

動の時間は台湾の大学生の方にガイドを頼み、電車にのって観光することができました。台湾の料理は日本のものとは味つけが全然違い、違和感が少しありましたが、とてもおいしかったです。高校生活の一番の思い出になりました。三つ目は介護実習です。二年生では毎月一週間、実際の介護施設に行きます。コミュニケーションだけではなく、入浴や食事など沢山の勉強をさせてもらっています。将来私は介護福祉士になって働きたいと思っていますので、これからがんばって勉強したいです。

二年生になって思い出が沢山できたと思います。次は三年生になるので、気をひきしめて頑張りたいです。

気づいたこと

美作高校二年 津 本 宥 海

僕は先日、学校の球技大会でサッカーをして足に全治二週間の怪我を負いました。

それからというものの、足を怪我しているため不自由な生活が始まりました。まず、朝起きて着替える時。いつも

受験生

倉敷青陵高校二年 井 上 唯

二年生も早いもので残り三ヶ月となりました。私の学校では、二年生の三学期のことを「三年生の〇学期」と呼びます。三学期最初の授業日、どの教科の先生も口をそろえておっしゃったことは、「もうセンター試験まであと一年しかないんだよ。」でした。私はこの言葉を聞いて、自分もいよいよ受験生なんだという自覚と、本気で勉強に取り組まないといけない時期に来たんだ、頑張ろうという決心と、もう一年しかないんだという焦りと、不安と：いろいろなことを感じました。私には絶対に行きたい大学があります。その夢を実現させるためには、今はやるべきことをやるしかありません。後ろ向きなこともいろいろと考えてしまいますが、否定的にならず、前向きに目の前の壁に立ち向かっていきたいです。また、私の学年の学年主任の先生は、「受験はお祭り」とおっしゃっていました。受験勉強は大変で辛いものです。でもその中でも、楽しもうという心構えを続けるようにしたいです。今まさに、一生懸命努力し、合格に向かってラストスパートを走り抜こうとす

と同じようにスムーズにできません。歩く時も、足をかばいながら歩く形になってしまいとても不自由な思いをしました。

一番不自由に感じたのは、避けては通れない階段でした。僕は右足を怪我していて上手く足を運ぶことができませんでした。そのため階段を上るのが左足に負担がかかるようになりとても大変でした。また、降りるときも左足からしか降りられないので毎回時間がかかってしまいました。

僕は足を怪我したことにより気づいたことがあります。普段怪我をせずに健康な体で過ごせる幸せです。怪我をせずに健康でいられることが当たり前とっていました。今回自分が怪我をして改めて健康でいられることの素晴らしさ、体の大切さを実感しました。そして何より、怪我をした僕をサポートしてくれた皆に感謝したいと思います。皆に助けてもらったのでその分恩返しできるように頑張ります。

る先輩の姿を見ると、やったことは必ず無駄にはならないと思います。このことを忘れず、今年一年乗り越えていきたいです。

次に、部活動について書こうと思います。昨年のことになってしまのですが、私の所属している書道部は青陵祭で書道パフォーマンスをしました。三年生の先輩方は、六月頃引退されたので、二年生が中心となって練習を進めていきました。書道パフォーマンスに向けては、合宿やブロック練習の後など、緻密な練習メニューをつくり、本当に皆全力で頑張りました。部員全員の願いで衣装には袴を用意することもできました。当日は、若干雨も降っていましたが、たくさんの人が見に来てくれたので、迫力のある演技ができたのではないかと思います。パフォーマンスの最後の方には涙目になっている部員もいて、私の心も達成感と充足感でいっぱいになりました。本気で何かを成し遂げることのすばらしさを改めて感じられた時でした。

最後に、いつも多額の奨学金をありがとうございます。このような素晴らしい奨学金がいただけていることに感謝しつつ、充実した学校生活を送ることができるよう、これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

日本人初の九秒台

就実高校二年 植 木 龍 翔

昨年の九月十一日、日本にうれしいニュースが入った。それは桐生祥秀選手が九秒九八を出したというニュースである。日本陸上会は、十秒台という壁を超えられていなかった。誰が最初に出すのかメディア中が注目した。最近の日本男子陸上のレベルが上がって来ている。注目選手は桐生選手他四名です。この五人誰が九秒台を出してもおかしくなかった。そんな中、迎えられた日本選手権三位までなら世界選手権出場のキップが手に入る。結果は桐生選手は四位悔しくも世界陸上百メートルに出場できなかった。世間では桐生選手は四番手の選手だと思われていただろう。それから約三ヶ月、桐生選手は初めて九秒台を出した。桐生選手はインタビューやテレビでは三ヶ月間すごい練習してきたと言っていた。あれぐらいの選手になっても血をはくぐらいの努力をしなければ九秒台がでなかった。それにくらべて自分はまだまだであると思う。だから自分も血をはく程の努力をしてさらに飛躍したい。また桐生選手が九秒台を出してすぐに山縣選手がおめでとうと桐生選手を祝

いただろうか。先日はセンター試験があり、私自身も大学受験までの残りの日数の短さをひしひしと感じている。三六五日を切ってしまい週にすると五〇週しかないそうだな。近況としては学校で進路についての授業や卒業生の方の話を聞く機会があった。受験生だった頃の勉強時間だったり、生活習慣だったり、より勉強への取り組み方を考えさせられた。そうは思っていないも、毎日同じように集中して勉強することができていないなど、この原稿を書きながら思っている。

正直今既に、「もう三年生だから」など先生に時間のなさを意識させられたり、友達の勉強に対しての意欲に、私一人置いていかれていると思うことが多い。けれど、私にも周りの友達にも同じだけの時間しかないのだから、と心に余裕を持てればいいなと思う。残り一年間、一度しか「三年生」にはなれないのだから勉強をやりきりたいと思う。

福していた。その山縣選手の人柄はすごいと思う。桐生選手も自分だったら素直におめでとうと言えないと言っていた。山縣選手は九秒台ぐらいすごいことをしたと思う。日本人の九秒台は、日本人ではトップニュースになるが外国人選手は普通に出す。そもそのDNA筋肉量の違いがあると新聞に書いていた。しかしそれに追いつこうと誰もが必死だ。僕もいつだったか、友達に「あと二秒でボルトに追いつくがー」つと言われた。たった二秒、日常生活で一秒二秒なんて考えたことがないでしょうが陸上選手にとつて百分の一万分の一の戦いである。僕自身一秒速くなるために三年もの時間を要した。その中で、技術だけでなくメンタル面も強くなければ良い結果が出ないという経験をした。地道が一番の近道と肝に銘じ自分の目標を達成すべく今後も努力する。

三年生

就実高校二年 上 原 志 保

「三年生の〇学期」今年に入ってから何度この言葉を聞

心境の変化

岡山芳泉高校二年 栗 山 裕 唯

年が明けて、早くも一か月が過ぎようとしています。特段変わったことはありませんが、ここ数か月でいくらか心境の変化がありました。

先輩方が大学入試に向かって励んでいる最中、緊張感はい校内中に伝わっていました。特にセンター試験が終わってからは多くの先生方が来年のそれについて口にされていて、ついに当事者になるのだ、と薄くではありますが実感しました。

また、私のまわりでは進路について話す友人が増えました。そんな中で自分の意識が追いつかずに置いていかれないだろうか、と日々不安を募らせています。

しかしただ悩んでいるだけでは駄目だと思い、将来を意識して行動する友人を見習って、私も積極的に担任の先生のもとへ行っているいろいろと相談に乗っていただくようになりました。もちろん志望大学に進学するためには、きちんと切り替えて、今までのしがしろにしていた勉強にも本腰を入れなければいけません。文武両道を目標に掲げていた

もののななかできておらず、我ながら情けない限りです。しかし目標のため、目の前の小さなことに向き合って、一歩ずつ努力していきたいと思います。

部活動に関しては、あと半年ほどで引退になります。一言に半年と言っても、それが早いか遅いかは自分次第だろうと考えます。悔いの残らないよう、自分の欠点を自覚し、直し、そして良い成績が残せるように努力していきたいです。

これから友人と遊ぶ機会は減り、部活動を引退してからは後輩と接する機会もなくなっていくます。寂しくはありますが、残された一年と少しの高校生活に後悔をしないよう頑張り、笑顔で終えられるように尽力していききたいと思います。

最後になりましたが、三年生の皆様、短い時間と少ない機会ではありましたが大変お世話になりました。これから皆様のご活躍をお祈りしています。

頑張っていること

岡山工業高校二年 小林 桜子

私が、今頑張っていることは陸上競技部の活動です。今は冬季練習中で体力づくりのための練習や、基礎的な練習が多くてとてもきつい練習がたくさんありますが頑張っています。

体力づくりのための練習では、長い距離を走ることも多いです。しかし、私は長い距離を走るのが苦手なのできつくて大変ですが、『去年、出場することができなかったインターハイに今年こそは出場するぞ』と思うと頑張ることができます。また、きつくても頑張れる理由が他にもあります。それは、チームメイトの応援です。きついときにチームメイトからの、「ファイト!。」

という言葉が聞こえるだけで力がでて、頑張ることができます。このことを経験して、冬季練習はひとりでは乗り越えるのが大変なんだなと感じました。

なので、私はチームメイトが走っているときなどには声をだし、応援をしてこれからもみんなで支え合って頑張っ

ていこうと思いました。

課題研究について

岡山一宮高校二年 高橋 大地

僕の通っている高校では一年生の終わり頃から二年生の間を使って生徒が何人かの班をつくり、自分たちでテーマを決めて課題研究をしている。テーマはどんなものでもいいというわけではなく物理、生物、化学、数学のどれかの分野で研究をする。僕らの班は数学班で正星型図形について研究をしている。まず星型図形がどういうものなのかを簡単に説明すると、円周上にいくつかの点をとる、五個以上点がないと星型図形ができないので点の数は五個以上とする。次に各点からそれぞれ二個先とか三個先とか何個か先の点とつなぐ。その時にできる図形を星型図形という。そして僕たちはできた図形すべてにあてはまる面積公式を求めようと考えた。面積を求める過程で僕たちは先端の角の大きさに着目して考えた。そうすると先端の角の大きさにちゃんと規則性があつて式として表すことができた。そ

してその角の大きさをを用いてすごく複雑にはなったけど面積公式を導き出すことができてちゃんとそうなることの証明もできた。自分たちの中では完璧に理解することができたけどそれを人に分かりやすく伝えるのはとても難しかった。発表の時間は限られているし、発表を聞くのは数学分野を教えている教授ばかりではなく、全然違うことをしている人や他の研究をしている生徒たちもなのでどこから説明すればいいのか全然分からなかった。そこで僕たちは多くの図を使って分かりやすい発表をこころがけたけど図が多すぎても逆に難しくなるみたいでなかなか上手いかなかった。それに説明を長くすると発表時間に間に合わなくなってしまうので今もいろいろ考えているけど困っている。研究で大事なのは自分たちが分かることはもちろんのことだけどただだけ人に分かりやすく伝えられるかということだと思った。

一年を振り返って

倉敷中央高校二年 片山 歩

この一年間は様々なことにおいて成長できた年だと思う。まずは、部活のことだ。昨年は、一昨年と比べて記録的にも精神的にも成長することができた。学年が一つ上がったことにより、先輩と後輩に挟まれてすごく良い練習ができた。そのおかげでもあるのか、県大会、中国大会と大きな舞台に立つことができた。本当にたくさんのことを学んだ。それとともにまだまだできていない課題が生まれた。今は、その課題を解決できていないので日々頑張っている。部活も今年で最後なので、悔いの残らないようにしっかりと頑張りたい。そして、今年こそはインターハイの舞台に立つてみたいです。

次は、学習面だ。もう今年は受験生だ。ついこの前、高校受験をした感覚なのに…。時間が経つのは本当に早いです(笑)。もう受験モードに入っていないといけないです。三年生になるとやっぱり受験のことばかり考えてしまうと思う。あまり直前になって焦らないようにそろそろ準備をしておこうという気持ちが強くなってきた。一年の時

よりもテストに対する気持ちが変わってきた。来年の今頃、笑って過ごせていられるように今をしっかりと頑張っていこうと思う。

高校生活ラスト一年間。LJKというやつです(笑)。自分の進路に向かって進んでいけるような、毎日笑顔で過ごせるように生活していきたい。今年度も一年、お世話になりました。来年度もよろしく願います。

負けず嫌い

岡山芳泉高校二年 安井 絵里果

私はどうやら負けず嫌いらしい。

私は中学生のころバドミントン部に入っていた。バドミントン部は定期的に部内での順位を決める試合を行っていた。そこで私は下から数えたほうが早い順位を何度もとっていた。でも、そのころはやべえなと思うくらいで悔しいという感情はあまり湧いてこなかった。勉強面でもそう思うことはあまりなかった。

高校に入ってから変わることはなかった。一年生の頃、

部活で公式戦があったときスタメンに入れなかったことがあった。そのときも「先輩のほうが上手いのは当たり前だし、一年生だから仕方ない」と思っていた。こんなことが

続いていた。私はあるときの面談で数学の教師である担任から「お前は勉強の効率が悪い」「勉強の仕方を間違えている」と怒られたことがあった。めったに先生に怒られたことがなかった私にとって、そういわれたことになんだかととてもむかついて「絶対見返してやる」と思うようになっていた。そして、次の定期考査では学年十位以内に入ることができた。それから私にスイッチが入ったのか、部活でスタメンに入れないことがあると悔しいという思いが強くなり、練習にも身が入るようになった。

三年生〇学期ともいわれているこの時期。来年の春に後悔しないように、悔しい思いで卒業することのないように、部活でラストスパートをかけながらも、しっかりと勉強に励んでいこうと思う。

頑張る時

岡山芳泉高校二年 笠 富花

入学してから、学年集会でも学級通信でもずっと「志望校に受かるために、今から勉強を本気でやりなさい。」と言われ続けてきました。しかし、その時の私は「もう少し後でいいや。」と聞き流すことしかしていませんでした。

受験シーズンになり、先輩方と廊下で会ったりやったり受験についての話になります。すると、先輩方は必ず「絶対に、今から勉強しとった方がいいよ。」とか「毎日コツコツ勉強しとくと後悔するよ。」などアドバイスをくれました。私は先輩方からのリアルな声でやっと、聞き流すことをやめました。

しかし、今まで本当に勉強から逃げて来ていたのか何やらすれぱいいのかが分かりませんでした。なので、先輩に聞いたところ、英単語と古文単語は絶対に覚えておいた方がいいと言われたので、頑張って覚えようとしたのですが、これも自分に対する弱さのせいで三日坊主で終わってしまいます。ここで、初めて自分のメンタルの弱さや甘えに気づきました。このままでは、どこにも受からないしこのま

まずつと甘い人間になってしまうと思い、今はまず三日坊主を治すことを頑張っています。

そして、もうすぐ三年生になり受験だけでなく部活の引退も近づいてきます。最後の試合も後悔なく終わるためには、やっぱり今、頑張るべきだと思います。なので、今までは自分に甘くできていなかった勉強と部活の両立を本気で頑張り、部活の引退も受験も笑顔で終われるように努力します。

オメラスから歩み去る人々

倉敷高校二年 四野見 祥子

私は学校の国語の時間に「オメラスから歩み去る人々」を読んだ。

オメラスと呼ばれる美しい都があった。人々は精神的にも物質的にも豊かな暮らしを享受している。君主制も奴隷制もない。そんなオメラスの美しい街の地下室の一つの部屋がある。その部屋の中に汚物まみれの子どもが坐っている。年は六つぐらいに見えるが実際には十になる。その子

最近思うこと

岡山朝日高校二年 井上 彪馬

僕が普段から、学校や塾までの行き帰りをする中で、歩きながら、あるいは、自転車に乗りながらスマホを使用している人、いわゆる「ながらスマホ」をしている人をよく見かけます。問題を起こすと、いろいろと面倒なので、僕はそういったことはしないようにしています。(実際のところ、僕にはそれほど親しい友達がいるわけでもないのですが、外でスマホを使う必要がないだけなのです……)

先日、自転車に乗りながらスマホを使用していた大学生が高齢の女性と衝突し、その女性が亡くなった、というニュースを見ました。実際に僕も、ながらスマホをしています。車に轢かれそうになっていた人を見たことがあります。ながらスマホをしている本人は、「どうせ事故なんか起きないだろう。」とか思っているんでしょうが、自分が今どれだけ危険な行為をしているのかをわかっていないと思います。

いろいろと調べてみたところ、ながらスマホをしていると、視線が画面に集中してしまうために、視野が通常時の

がそこにいなければならないことはみんな知っている。とにかく、彼らの幸福、この都の美しさ、彼らの友情の優しさ、彼らの子どもたちの健康、学者たちの知恵、職人たちの技術、そして豊作と温和な気候までが、すべてこの一人の子どものおぞましい不幸に負ぶさっていることだけはみんな知っているのだ。

この話から、子どもを助けるか助けられないべきかを考えた。私は、子どもを助けず、町の平和と繁栄を守って幸せな生活を送る方を選んだ。

なぜならば、たった一人の子どもを助けて町が減んでいくより、町の人々が幸せのままである方がいいと思ったからだ。

確かに、子どもがかわいそうという罪悪感がわくと思う。しかし、実際に、見ず知らずの子どもと、自分の幸せだとしたら、自分の幸せをとると思う。

それゆえに、もし仮にその子どもを救い出したとしたら、町が荒んでいき、やがて争いも起こるだろう。「あの子さえ救わなければこんなことにはならなかった」と町の人々は子どもを責めてしまうと思う。助けたところでその子どもにとって明るい未来はないのだと考える。

よって私は功利主義がよいと考える。

約二〇分の一にまでなってしまうそうです。自動車や自転車の運転中にスマホを操作することについての罰則はありますが、歩きスマホについての罰則はありません。しかし、街中を見ると、歩いている人はもちろん、自転車や自動車に乗っている人もスマホを使用している姿が見えます。そういう人たちには、今その行動が本当に必要なのかをしっかり考えてほしいと思います。

これからもどんどん便利なものが世の中に登場してきます。それらをどう扱っていくべきか、というのを皆さん一人ひとりが責任を持って考えてほしいです。

僕の冒険

岡山朝日高校二年 武田 宗真

「悔やむ事も当然…やりきれぬ思いも当然…失ったものは大きく得たものはない

…だがこれは前進である!!戦った相手が誰であろうとも戦いは起こり今終わったのだ!!過去を無きものになど誰にもできはしない!!!この戦争の上に立ち!!!生きてみせよ!!!!ア

ラバスタ王国よ!!!!」

これはワンピース二十三巻二百十一話「王」に出てくるコブラさんの言葉です。この言葉が今の僕の状況を風刺しているので紹介しました。では今と今後について書きます。まず無事に三学期期末考査が終わりました。おそらく進級はできるはずです。ここからは三年になると仮定して話を進めます。

受験まであと一年をきりました。先日センターマークを受けて、自分の志望校との距離に「あれ、遠くね？」と絶望しましたが、それと同時に「ゴールから逆算してみると、頑張ったらいけそうだ」とも思いました。先輩の中で僕と同じような状況からいい所に行った方がいらっしやるそうなので一ミリほど安心しました。まあ、この二年間僕の時間は止まっていました。なんとか流れ出しました。失ったものはめっちゃたくさんで、得たものはないけど、でもここからまた僕の冒険が始まります。人生って奴は偉大なる航路後半の海新世界に似ています。超怖いでも超楽しい。後戻りできないところまで来ちゃったのであとは進むだけですね。とりあえずこの一年を無事航海しきります。

また僕は、学校行事にも積極的に取り組んでいる。勉強だけでなく、仲間と切磋琢磨することでメリハリをつけ、自分の士気を高めている。例えば、秋には『朝日祭』が行われ、クラスのリーダーとして努力した。体育祭ではクラスの枠を超え、縦の学年と協力し順位を争った。しかし、結果は第三位と華々しいものではなかった。来年は、さらに戦力を分析し、作戦をしっかりと立てて万全を期したい。校内の球技大会では、硬式テニスの部でダブルス優勝を果たすことができた。僕は今まで中学から部活動でも努力してきたが、思うような成績は得られなかった。此度の経験は、僕にとってとても感慨深いものであった。

一月末には、一泊二日の『スキー実習』に参加し、自然の中での活動を通して、冬山の知識やスキー技術を学ぶことができた。足を揃えて曲がるパラレルターン、ウェーデルンを理解したが、とても難しい技で身体が思うように動いてくれない。日々の部活動と同じで、反復練習の大切さを痛感した。今後冬には技術を磨き、資格を取れるよう努力したい。

今年一年の努力が、二年後の本番に大きく影響を及ぼす。僕は身体を動かすことが大好きなので、生徒会活動や部活動、学校行事に積極的に取り組みたい。また、リーダーとして活躍できる場を多く経験し、人間的にも成長したい。

大学入試に向けて

岡山朝日高校一年 守 時 明 信

いつものように校庭を歩いていると、「ムーミンは、どこの国の話だっけー」と、所々から声が上がっている。昨日のセンター試験問題、地理Bの解答を巡って会話が交わされている。『ムーミン』と『小さなバイキングビッケ』の舞台は、ノルウェーかフィンランドかを選択させる問題だった。この問題は、異文化を考えさせるもので、アニメーションと言語を絡め、物議を醸しだしていた。

本校三年生の先輩方も、センターの結果を受け、さらに進路決定に奔走していた。僕も二年後にセンター試験を控えており、本番で何が起こるかわからないが、自信を持って答えられるよう準備をしなければならぬ。受験大学を変更することなく、常に前を向いて努力したい。

高校に入学してから、もうすぐ一年が過ぎようとしている。高校の生活にも慣れ、今年からは文理の選択が始まる。僕は、文系で広く学ぶことを選んだ。将来、教育に関する分野を研究したいと考えているので、今から色々な書物や文献を少しずつ読み始めている。

このことは、将来の自分の仕事や仲間や上司とのコミュニケーションに役立つものと考えている。幅広く知識を深め、目標大学の求める学生像を理解し、センター試験突破をはかりたい。日々の課題を克服し、将来を見据えた考え方を、さらに培っていきたい。

将来の夢を実現するために、まず大学入試の突破。次の舞台では、専門的な分野で知識を深めることができる。自分を高めていける舞台に立てるよう、さらに精進せねばと心を新たにしたところである。

最後に、八正会三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。これからの新天地でのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

二〇一八年

岡山城東高校一年 大 月 佳 子

二〇一八年は、私にとって勝負の年だ。私は二年次から『音楽学類』に所属し本格的に音楽の勉強をすることになる。私は声楽を専攻しているのだが、その授業だけでなく、

音楽理論、副科ピアノ、新曲視唱、聴音、アンサンブルの授業などもある。それぞれ定期的に実技テストがあり、その出来で評価がつくのだ。また、今年も声楽のコンクールに出場するのだが昨年よりレベルの高いものに挑戦する。コンクールは夏にあるのだが部活（合唱部）のコンクールも同じ時期にあるので、完ペキに両立させないといけない。かなりハードな部活で、主体として引っ張っていかねばならない学年でもあるので相当忙しくなるのは目に見えていることだが、色々なことを経験できるということは、すぐく自分にとって役に立つことだと思うし、こんなことを経験できるのも高校生のうちだけだと思うので充実した一年になるように、やるべきことをきちんとやって、どれも中途半端にならないように優先順位を考えて頑張っていたと思う。二〇一八年が終わるときに「良い一年だった!!」と言えるような年にしていきたい。

ある日の出来事

倉敷青陵高校一年 宇田川 桃 佳

冬休みのある日、私は美容室に行った。そこは初めて行く美容室。今まで通っていたところが休業状態で、再開のめどが立たないとのこと。自宅から一番近い美容室に行った。店内に入ると、美容師さんに

「ドウゾ。ウワギヲヌイデクダサイ。」

と片言の日本語で言われた。私は心の中で「この人外国の方？私、英語全くできないのにどうしよう。」と思った。鏡の前に座って暫くすると、美容師さんはメモ帳を持ってこちらに来了。そこには

「私は耳が聞こえませんが」

とあり、腑に落ちた。耳が聞こえないから喋りにくそうにしていたのだ。

私は手話ができないので、コミュニケーションを取るのも簡単ではなかった。何センチ切るのか、前髪をつくって欲しいがどんな感じにするのか等を筆談やジェスチャーで伝えた。細かいニュアンスは言葉だけでは伝わりにくいで絵を描いた。散髪の途中もたくさん話しかけてくれた。

例えば「何年生？」とか「どの学校？」など。散髪中に筆談をする訳にもいかない。なので、美容師さんの声と口の動きを見て質問を理解する。そして、私は口を大きく動かしてそれに答えるという形で会話をした。普通に話すより時間はかかったが、お互いの言いたいことが通じ合ったときは本当に嬉しかった。

私は耳が不自由な人に会ったことも話したこともなかった。なので初体験のことが多かった。また、こういう人はテレビや本の中にしかないと思っていたが、身近にもいるのを知ることができた。今度行くときは少し手話を勉強して、もつと美容師さんと話したいと思う。

肝心の髪の毛はどうなったかというと、枝毛がなくなり、ボサボサだったところも整い、小学生以来のパツツン前髪になり、新たな気持ちで三学期を迎えることができた。

部活動

岡山操山高校一年 芦 田 佳 大

私は山岳部に所属している。山岳部についてあまり知ら

ない人のために説明すると、山岳部は字の如く山や岳を登る部活で運動系の部に属するが、行っていることはただの登山だけではない。大会では自然や気象、救急等の知識を問う筆記の「試験」もあるし、いかに効率よく正確に TENT を立てられるかを競う「設営」や、料理を作る「炊事」も活動の一環として行っている。いうなれば万能系の部活動である。しかしこのことはあまり知られておらず、かく言う私も入部して初めて知った。

ではなぜ私が山岳部へ入部したかということだが、高校入学時の私はどの部に入部するか大変頭を悩ませた。元来私は運動が得意ではなく、中学時代は美術部に所属していた。しかし三年間続いているうちにどうも自分には向いていないのではないかという困惑にも似た感情が湧いてきた。そこで高校の部活はどうしようと考えた末に、親が勧める山岳部が候補に挙がってきた。ところがあまのじゃくの私にはそのまま入部を決めてしまうと親の言葉を鵜呑みにしたかのような気がして癪に障り、すぐに決めることができなかった。

それでもそんな私にも転機が訪れた。それは入学して少し過ぎた頃に行われた新入生の宿泊研修だった。その時に山を散策するオリエンテーリングの行事があったのだが、山を登っているとどうも気分が晴れ晴れとして気持ちが良

いし、達成感もあったので、また山岳部のことが思い出されて心が揺らいだ。そして結局最後は部の友達の勧誘に押し切られて入部してしまった。このような経緯で入部した私だが、今となっては勧めてくれた親と強引にでも引き込んでくれた友人に大変感謝している。

ここで入部して良かったと思うことを三点挙げたい。一つ目は友人関係が広がったことだ。これは部活動に入るメリットの一般的なもので、自分がそのまま何もしないでいれば絶対に巡り合わなかった人々と面識を持ち、友好関係を築くことができる。こんなに素晴らしいことはないだろう。二つ目は根性・忍耐力が付いたことだ。重い荷物を背負い、山を登っているとどうしても疲労が溜まり、もう登れないのではないかと思う時がある。しかしある地点まで行かなければ下山することはできない。そこまで辿り着くためには、力を振り絞ってでも前に進まなければならない。人が成長するのは限界を超えた時というように、自身のレベルアップのためには根性や忍耐力が必要だ。三つ目は生きがいである。私はこの一年間ある病を患っていたが、山に誘われ山へ行くとともに心が晴れ渡り、楽しいという感情が生まれてくる。以上のことからこれからも山に登り、辛いことがあってもその辛さを越えられる楽しさを大切にしていきたい。

「生きる」ということ

清心女子高校一年 杉 岡 由香子

最近私は将来について考えることが多くなりました。将来の夢があると、それに向かって頑張ろうと思うことができます。しかしその分不安が募り、心に鉛のようなものが重く押し掛かったような感覚になることがあります。その不安から逃げ切ることができずに、自らの意志で亡くなるというニュースを耳にすることが多くなりました。そのことを聞く度に胸が締めつけられます。一日を生きることはとても体力や気力が必要だと感じました。

二期の終業式に校長先生がおっしゃっていた言葉が心に残っています。「辛いと思ったら逃げて良い。甘えても良い。人に頼っても良い。だから絶対に人生を捨てないでください。あなたたちは明るい灯火です。たとえ小さな光であったとしても、輝き続けているのは素晴らしいことなのです。」この言葉を聞いた瞬間、今まで抱えていた不安が一瞬にして綺麗になりました。

私たちは日々、目まぐるしく変化する社会の中で一生懸命に生きています。このことがどれだけ素晴らしいことな

のか改めて強く感じる事ができました。どんなに辛いことがあったとしても、周囲には支えてくれる家族や友人がいるんだと思いました。そして十六年間生き続けられていることに感謝をし、これからも皆さんと一緒に輝き続けたいです。

超ゲーム理論

岡山朝日高校一年 中 村 優 斗

僕はゲームが大好きだ。このように言い切ってしまうと語弊があるかもしれないという事で言い換えることにする。僕はコンピューターゲームが大好きだ。小学生の時なんてゲームぐらいいしやってないのではというぐらい記憶の中での存在感も大きい。ポケモンなんか所持カセット全てにおいてプレイ時間五〇〇時間を優に超えている。まあ、僕よりもゲーマーな人は百花繚乱、不遑枚挙だろうが、それでもゲームについて語らせてもらいたいと思うので候。

東京大学大学院卒日本テレビアナウンサー理系出身研究大好きでこの世の森羅万象を毎週解き明かしている榊太一

アナが以前ゲームについて語っていたらしい。「ゲームとは最も健全な精神安定剤である。」と。これには僕も非常に感嘆した。何も東大卒の彼がゲームについてしんみりと語ったことにはない。そのクリティカルな表現に打ちのめされたのだ。正にその通りだと思う。重要事項なのでもう一度書く。「ゲームとは最も健全な精神安定剤である。」確かにゲームは、直接的には誰にも迷惑を掛けずに何だっでできる。そうできるのだ。そしてこの点については興味深いCMを先日見ってしまった。SONYのPS4のCMだった。「できないものはできないわよ。」とヒステリックにわめくマダムに山田孝之がまるでマジンガーZのロケットパンチのように拳を発射しながら「We can do it」とリピートしまくる。更に「できないことが、できるって、最高だ。」というテロップまで出てくる。もう分かったわよ。

結局、何が言いたかったかというと、ゲームは僕達の世界に彩りを与えてくれる媒体であるということ。一種の文化としてのゲームをそこに認めうるができる。用紙狭隘につき今回はここまでとさせていただきます。

英会話部に入って

就実高校一年 酒 井 美 絵

私は今、英会話部に入っています。英会話部に入ったきっかけは、英語を得意教科にしたいと思ったからです。中学の頃から英語は大の苦手でした。テスト勉強をきちんとしていても、なかなか自分の思うような点数は取れませんでした。特に実力テストでは、長文やリスニングが強敵でした。なので日頃から英文を書いたり、英語を聞いて耳を慣らしておけば得意になるのではないか、と思ったのが一番の理由です。

入部して九ヶ月が経とうとしている今、入部時に比べて英語に対する苦手意識がなくなったように感じます。外部から外人の講師が来てコミュニケーションを取ったり、ちよつとしたゲームをしたりしています。その際は、必ず英語を使わなければなりません。最初は聞きとれず喋れずで、苦戦していましたが今では少しですが、理解出来るようになりました。

英会話部を引退するまでに、もっと英語を頑張つて、得意科目になれるようにしたいです。そして、外国の方にし

きただろうにと思った。

高校生活はとても楽しく、忙しい。だからあつと言うまでに過ぎてしまう。そんな早く過ぎる高校生活を効率良く過ごすために、目的を持って勉強したい。

趣味の大切さ

岡山芳泉高校一年 近 藤 玲 海

私の学校では芸術が音楽、美術、書道に分かれており、その中で私は美術を選択していた。美術の授業では動画制作というものがあつた。その内容はパソコンでPhotoshopとFinal Cut Pro Xを使って一分三十秒以上の動画を作るというものだった。最初にそれを聞いたときは、面白そうだと思い、とても楽しみにしていた。そして、いざ取り掛かってみると想像とは全く異なり、とても難しかった。ペンタブを使って絵を描いていくのだが、パソコンの画面を見ながら机に置いてあるタブレットに絵を描いていくため、手の感覚が正確でないと丸もまともに描けない。それに加え、筆圧も感知するため、線が太

やべりかけられても、すぐに対応できるまでになりたいです。

目 標

岡山芳泉高校一年 山 川 達 雄

昨日、僕が住む町には雪が降った。芳泉高校の周りには桜の木が植えられているが、それが白かった時とは大違いだ。高校に入学してから、色々と楽しい事や嬉しい事があつた。当然、後悔した事もある。

僕の後悔、それは目的を持たずに勉強していたという後悔だ。冬休みに入る前、休業前集会の時に先生が次のように話してくれた。「勉強をする時には『この問題だけでも解く』とか、小さくてもいいから目的が必要だ。もし無ければ、スマホをする、とかテレビを見るとか目の前の行動を優先してしまう。」僕はそれまで何となく勉強していた。思い返せば部活や登下校で疲れたことを理由に帰ってからあまり勉強しなかった日もある。先生の話を聞いて、もし目的を持って勉強していたら、僕はもっと効率よく勉強で

くなったり、濃くなったりするのだ。そして、七月頃から制作が始まったのだが、結局十二月になっても作品は完成せず、部活を休んで放課後に残って制作することになってしまった。部活を休んでいるというのもあり、作業時は罪悪感と焦りでいっぱいだった。そして、一週間、毎日放課後に通い続け、ようやく完成した。その日は五時下校だったが、結局下校時間を一時間半近く過ぎてしまった。しかし、先生は怒るどころか、「映像技術が凄いな。」と言って褒めてくれた。そして帰り道、その先生の優しさと罪悪感や焦りから解放されたことで、気付いたら一人で泣いていた。そして、その時にふと思ひ出したのは、受験勉強で友達と遊べなかった時期、私の唯一の楽しみだったことが「絵を描くこと」だったということだ。プレッシャーや不安で押しつぶされそうな時でも絵を描いて達成感を得ることで、気持ちをリセットし、勉強に取り組むことができた。そのことを思い出したとき、私にとって「絵を描くこと」はとても大切なことなんだと思った。家に帰ってスケッチブックを見返すと、この一年で描いた沢山の絵がそこにあつた。そして全体を通して見ると、とても絵が上達していた。それを見た時、またも小さな達成感を感じたのだ。私はこの出来事を通して改めて趣味の大切さについて気付かされた。これからはどれだけ忙しくても、趣味の時間

を少しでもとっていききたいと思う。そうすればきっと、なんでも頑張れる気がする。そしてこれからも、何事にも前向きに頑張っていきたいと思う。

緊張とは

岡山朝日高校一年 山 梨 有 希

人はなぜ緊張するのでしょうか。又、緊張する人としな人とはなにがちがうのでしょうか。この論題は、私が克服したいと思って調べたもので、人前に立ったり、発表するのが苦手な人に読んで頂きたいと思います。

まず、人はなぜ緊張するのか、という根本的原因について話したいと思います。緊張するとき、どんなことを頭で千思万考していますか。きっと、失敗への恐怖や人からの見られ方を気にしたり、又は自分の意見の正当性を疑い、準備不足を後悔し始めるかもしれません。これら思考回路の原因は、「完璧主義」にあると思われます。少し囁んだら、ある一人が否定的な表情を浮かべただけで、「完璧主義」な人は、満足できなくなってしまうです。よって、足

一年間の振り返りと今年の抱負

岡山工業高校一年 黒 田 裕 希

一年間を振り返って、私は初めての高校生活を、なかなか楽しんでいと思っています。中学生の時よりも自然体でいれるような気がします。

そんな高校生活で、中学と変わったことといえば、まずは授業だと思っています。工業高校は、私の嫌いな国数英社理が削られ、実技が圧倒的に増えます。週に一回、三時間連続である実技の授業は、その授業自体も楽しいですが、合間に先生方の話してくれる、先輩方の失敗談や成功談などがとても楽しいです。

次に部活です。マイコン同好会では、文化祭の時に自動販売機のようなものを作ったりランプを作ったりしました。そして今は、マイコンカーラリーに出場するために、一年生全員で取り組んでいます。中学の部活は美術部で、それ程熱心に活動していなかったなので、少し新鮮で、とても楽しいです。

最後に、クラスメイトです。もちろん変わるのはあたりまえですが、そうではなく、中学と違って、高校は自分で

りなかった十%を埋めれない自分を責め、改善策が思い浮かばず焦るのです。これがいわゆる緊張なのかなと推察しています。

では、どうすればこの悪循環を絶ち切ることができるのでしょうか。それは、「八十%を出すことを目標にする」ことです。これは一種の逃避かもしれませんが、次の段階に挫折なく上れると考えれば、有意義な逃避だと思います。失敗を失敗と思わず、笑われても恥と知らない図太い心を持てばいいのです。

それでもう一つ私が実践していることなのですが、「皆明日になったら忘れてくれる」と思うようにしています。自分の失敗は小さい頃からのものまで覚えているとしても、他人の恥は覚えていないものです。失敗はこっそり自分の中にとどめて、自分一人で反省すれば、誰にもバレずに成長できます。

そう考えると、発表などの緊張する場面も、「自分一人でこっそり進化できる」とむしろわくわくして臨めると思いませんか。

以上、私なりの緊張攻略法でした。頭の片隅にでも置いて頂けると幸いです。

選びます。だからこそ、似た人が集まっているので、人の名前を覚えるのが苦手な私も、中学よりもクラスメイトの名前を覚えられていると思います。遊びに行く回数も増えて、出費が増えました。

あまり伝わらなかったかもしれませんが、高校生活はとても楽しいです。

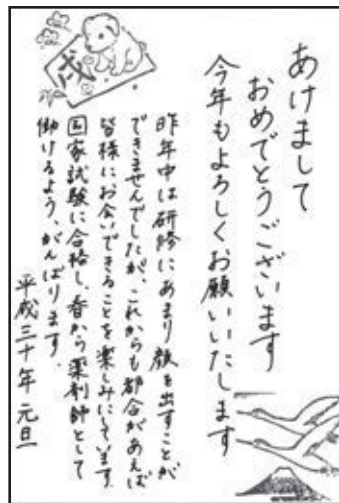
今年の抱負は、進路をしっかりと決めることです。少し前まで大学へ進学かなと思っていましたが、専門学校にも面白そうなところを見つかったり、就職もいいなと思ったりと、ふらふらしています。クラスメイトには学校を絞っていたり、だいたいの職種を決めている人も多いので、少なくとも夏休みぐらいにはそこまで決めたいと思います。そのためにも、進学説明会など積極的に参加していきたいと思っています。

英語の必要性と私の目標

岡山一宮高校一年 有 村 真 優

現在の日本では、グローバル化が加速している。

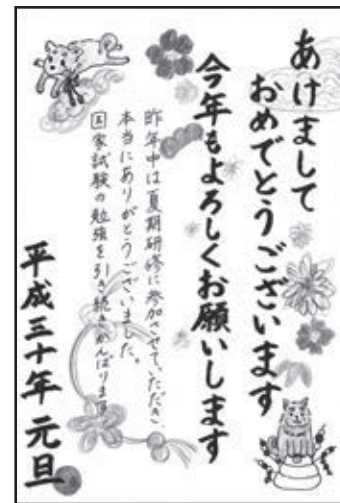
年賀状



●平成24年度卒 後藤 千尋



●平成25年度卒 山磨 貴幸



●平成26年度卒 後藤 眞依



●昭和62年度卒 日下 天



●平成1年度卒 松本 幸代



●昭和55年度卒 宮田 正美



●平成2年度卒 吉澤 悦子

二〇二〇年に開催される東京オリンピックに向けて、国内ではさまざまな取り組みがなされている。英語を使った看板や、外国人観光客向けの公共施設などもそのひとつである。これらにより、街中で英語を目にする機会が増えた。また、日本の労働人口が年々減少していくのに伴い、外国人労働者も増加している。このようなグローバル化の加速により、私たちは今まで以上に外国人と接する機会も増える。そんな時、外国人をもてなすのは看板でも公共施設でもなく我々日本人である。そのため、必要不可欠となってくるのが英語でコミュニケーションをとる力だ。

しかし私は英語が大の苦手だ。いざ英語で話すとするとうまく言葉が出てこなくなってしまう。そこで短期留学したいという目標が私の中で生まれた。私の好きな言葉で「扉を叩け、さらば開かれん」という言葉がある。自分で閉ざしてはいけない、克服したいと思った。短期留学で生の英語に触れ、英語を好きになり、修得する第一歩を踏み出したいと思う。

日本の常識がどこまでも通用する、常に正しいという考えをもった日本人は少なくない。このように自国だけに留まっていると、多面的な視点を得ることが難しい。他国の人と交流することで、日本を客観視できるようになると考える。また異文化を知るきっかけにもなると思う。今まで

知らなかった物事の捉え方や考え方に生で触れ、自分の世界観がより豊かになると思う。その一方で誇り高い日本の文化も伝えたい。

この目標が実現できるように、これから増々英語修得に向けて努力したい。そして将来は、グローバル化が進む社会で英語を活かして人の役に立てる人間になりたい。

編集後記

「野菜高騰と畑仕事」

今年の冬は、秋の台風と厳しい寒さのため野菜が高騰。

大根1本379円、キャベツ1個400円、白菜1/4切98円と高値のオンパレード。

鍋にも、もやしやニンジン、しいたけなど比較的値段の廉価な食材のみを使おうかと主婦の悩みの種となっています。

我が家では猫の額ほどの畑に大根・ホウレンソウ・春菊の種まきをして育てています。ホウレンソウは種まきの時期が遅れ、まだまだ葉っぱが小さく収穫には至っていません。大根はそれなりの大きさに育ち、店先の大根ほどの立派さではありませんが、時折抜いては、おでんにブリ大根にと重宝しています。春菊もそこそこ育ち鍋の時には時々登場します。

ありがたがられない畑仕事も野菜の高騰ということで、改めて評価されるという始末です。毎年、豆類・芋類を中心に育てやすい物だけを栽培しています。なかなか葉物には挑戦できない現状です。

定年を目の前に、退職後は畑仕事が待っている、まあ細々と自分たちが食べられる野菜を作り続けられたらと思うこの頃です。

【ベジタリアンではないが、ロールキャベツの大好きなY U A】

年賀状



●昭和49年度卒 長田 宏



●昭和51年度卒 柳村 賢一郎



●昭和60年度卒 垣内 顕治



●昭和37年度卒 兒子 浩



●昭和47年度卒 難波 弘行

～ 事務局よりお願い ～

- ①会員登録がまだの方は、是非登録をお願いします。登録には、パスワードが必要です。パスワードは事務局が発行しますのでご連絡下さい。
- ②卒業や結婚、転勤等で引っ越された場合は、必ず事務局まで転居先をご連絡下さい。巻末に「住所変更連絡はがき」を添付していますのでご利用下さい。また、八正会のホームページ（<http://www.hasshoukai.or.jp/>）のお問合せ欄からメールで送っていただいても結構です。

八 正 会

検索

表紙の絵 児島 慎太郎「穹 窿(キュウリュウ)」

〈意 味〉
太陽は自分にとって神に近い存在です。
ここを歩きなさい、ここは歩いてはいけません。
を理屈抜きに教えてくれる。

〈描いた動機〉
自分がスランプの時に旅に出かけた。そこでふと見上げた先に広がっていた大空。
今では何に悩んでいたかさえ忘れてしまった。
悩んでいる時や苦しい時は小さなことに囚われて、大きなことを見失いがちです。
何がキッカケとなって道が開けるかわかりません。
日々出来るだけ心を開いて過ごすことを忘れないように心がけています。

児島 慎太郎
1977年 岡山県生まれ。
1999年 倉敷芸術科学大学芸術学部美術学科卒。
2000年からフランス、イギリスに約5年滞在。
主に個展を中心に活動。全国のコンクールに入選入賞を重ねる。

発行責任者 落 司 量 則
発 行 者 公 益 財 団 法 人 八 正 会 (ト ン ボ 育 英 事 業 団 体)
郵便番号七〇〇―〇九八五
岡山市北区厚生町二丁目二番九号
(株) トンボ内 電話〇八六―二三二―〇三二―
協同精版印刷株式会社
印刷所 平成三十年三月